

## 現代社会学科 4年間のカリキュラム

		1年次	2年次	3年次	4年次		
		社会学の基礎知識や社会問題を多角的な視野から考える力を養います。	フィールドワークや実習をはじめ、自分が気になる分野を深掘りし、専門性を深めます。	フィールドワークに加え、インターンシップを通じ、将来を見据えた学びを深めます。	学んだ理論、専門知識、実習で得た実践力を活用し、課題解決策を実行する力を身につけます。		
学部共通科目	基礎	●近現代史 ●危機管理論 ●マネジメントの基礎 ●社会統計入門	●マスコミ論 ●経済学の基礎 ●政治学の基礎 ●法学の基礎Ⅰ・Ⅱ ●日本の歴史 ●西洋の歴史 ●国際情勢論 ●行政学の基礎 ●時事問題基礎Ⅰ ●東洋の歴史	●日本近現代史 ●アメリカ社会研究 ●時事問題基礎Ⅱ ●アジア社会研究 ●地域行政論	基礎	学部共通科目	基礎
	共通実習		●グループ・アプローチ ●ファシリテーター・トレーニング ●インターンシップⅠ	●キャリアプランニングⅠ・Ⅱ ●インターンシップⅡ	共通実習		
	ゼミナール	●入門ゼミナールⅠ・Ⅱ	●ゼミナールⅠ・Ⅱ	●ゼミナールⅢ・Ⅳ	ゼミナール		●ゼミナールⅤ ●卒業研究
	専門語学	●専門英会話Ⅰ・Ⅱ	●専門英会話Ⅲ・Ⅳ ●時事英語Ⅰ・Ⅱ	●専門英会話Ⅴ・Ⅵ ●英書講読Ⅰ・Ⅱ	専門語学		
専門基礎科目	専門共通		●社会学概論Ⅰ・Ⅱ ●社会調査法Ⅰ～Ⅲ ●社会統計学 ●比較社会学 <b>PICK UP!</b>	●現代社会研究Ⅰ・Ⅱ ●質的調査法 ●量的調査法	専門共通		
	共通実習		●現代社会基礎実習Ⅰ・Ⅱ <b>PICK UP!</b>	●現代社会実習Ⅰ・Ⅱ ●社会調査士実習Ⅰ・Ⅱ	共通実習		
	市民と生活	●市民と生活入門 ●多文化共生 ●ジェンダー論	●現代生活論Ⅰ・Ⅱ ●福祉社会学Ⅰ・Ⅱ	●市民と生活 ●現代家族論 ●男女共同参画研究 ●ネットワーク論 ●市民と生活研究 ●ケア社会学	市民と生活		
	仕事と産業	●仕事と産業入門 ●仕事とキャリア ●地域と産業	●労働と経済Ⅰ・Ⅱ ●消費と流通 ●マーケティング	●仕事と産業 ●ものづくり論 ●仕事と産業研究 ●社会政策 ●観光学	仕事と産業	●卒業論文	
専門分野科目	地域と文化	●地域と文化入門 ●地域とくらしⅠ ●マスメディアと文化 <b>PICK UP!</b>	●地域社会学Ⅰ・Ⅱ ●社会と文化Ⅰ・Ⅱ ●地域とくらしⅡ ●地域デザイン論	●地域と文化 ●グローバル社会学 ●地域と情報 ●社会と文化研究 ●まちづくり研究 ●ユニバーサル・デザイン論	地域と文化		
	専門展開科目	●ボランティア論Ⅰ ●災害情報論Ⅰ ●開発途上国論Ⅰ ●防災行政学 ●防災教育学Ⅰ	●災害の社会学 ●自然災害学Ⅰ ●国際協力論Ⅰ ●地域防災コミュニティ論Ⅰ ●社会貢献哲学 ●犯罪学 ●社会防災特別講義Ⅰ・Ⅱ ●NPO論	●阪神・淡路大震災研究 ●犯罪心理研究 ●社会防災特別講義Ⅲ・Ⅳ ●開発経済学 ●ソーシャルキャピタル研究 ●国際宗教比較論 ●アジア地域学研究	専門展開科目		
	○スポーツサイエンス・ユニット(2年次より選択)→P27へ						

## ディプロマ・ポリシー 【卒業認定・学位授与の方針】

### 1. 知識・技能

社会科学及び人文科学の学際的な学修を通じて、現代社会における人びとの暮らし、仕事と産業、および文化の形成に係る諸事象を多面的、総合的に理解し、その知識を活用することができる。

### 2. 思考力・判断力・表現力等の能力

現代社会における人びとの暮らし、仕事と産業、および文化の形成における諸問題を学際的かつ科学的に発見・把握するとともに、解決の方途を探究し、自らその解決策を実践することができる。

### 3. 主体性を持って多様な人びとと共同して学ぶ態度

グローバルな視野を有した一市民としての自覚と自ら成長し続ける意欲を有するとともに、価値観、意見、立場の異なるさまざまな人びとと議論し、学びを深め、協働して社会に貢献することができる。

PICK UP!

## CURRICULUM

カリキュラム

### マスメディアと文化

日常生活を送る上で欠かせないマスメディアは、私たちの生活や思考に大きな影響を与えています。発信される情報により形成される文化のさまざまな問題を科学的、社会的に発見・把握し、その解決方法を探究していきます。

### 現代社会基礎実習Ⅰ・Ⅱ

現代社会について学んだ知見をフィールドワークで応用。生活、労働、人間関係など、現代社会が抱えるさまざまな問題を体験的に考察することで、解決への糸口を探り、社会貢献につなげる力を磨きます。

### 社会統計学

身近なテーマを題材に、社会の中で統計がどのような役割を果たしているのかを読み解きます。また、社会問題と統計調査の効果的な結びつきを考え、現代社会で活用する力を養います。